

1 研究主題

(令和4年度～6年度 3カ年継続研究 1年次)

ふるさとを愛し、他者と共に

持続可能な社会の創り手となる児童生徒を育てる学校教育の推進

2 研究推進の概要

(1) 「6月研修会」の開催・運営

○期 日 令和4年6月1日(水) 中学校長会議終了後実施

○会 場 上川教育研修センター講堂

○内 容 講演 「新時代の学校教育」

講師 北海道教育庁上川教育局 義務教育指導監 佐藤 忍 様

(2) 上川管内公立小・中学校長教育研究大会の開催に向けた準備及び参加・運営

○期 日 令和4年8月3日(水) オンライン開催

○全体会 講演 「令和4年度上川管内教育の推進に向けて ～安心・安全、学力向上～」

講師 北海道教育庁上川教育局長 岸本 亮 様

○分科会 中学校第1分科会主題Ⅰ「創意と活力に満ちた学校経営の推進」

中学校第2分科会 主題Ⅱ「社会に開かれた教育課程の推進」

提言 大熊 修一(啓北中学校)

(3) 第73回全日本中学校長会研究協議会北海道(札幌)大会への参加(6名)

○期 日 令和4年10月20日(木)・21日(金) オンライン開催

○内 容 全体会 開会式、文部科学省説明、全体協議会、分科会、記念講演

(4) 「2月研修会」の開催・運営

○期 日 令和5年2月6日(月) 中学校長会議終了後実施

○会 場 神楽公民館第1学習室

○内 容 講演 「全ての教育関係者がいじめを正しく理解し行動するために」

講師 旭川市教育委員会 学校教育部次長 眞田 眞 様

(5) 研究紀要(第50集)の編集・発刊・配布等

3 研究の成果と課題

(1) 上川管内公立小中学校長教育研究大会において、旭川市小学校長会、上川管内校長会と協力し、オンライン開催ではあったが初期の目的を達成することができた。本研究大会主管校長会として新たな運営を試み、効率化を図ることができた。

6月研修会、2月研修会ともに、喫緊の課題解決に向けた取組や今後の学校教育への展望について情報共有することができた。

(2) 全日本中学校長会研究協議会北海道(札幌)大会において、各分科会への参加により情報収集に努めた。

(3) 6月研修会、2月研修会ともに、喫緊の課題解決に向けた取組や今後の学校教育への展望について情報共有することができた。

(4) 今後、令和6年度全日中研究協議会岩手大会に向けた提言準備を進める必要がある。

1 研究主題

(令和4年度～6年度 3カ年継続研究 2年次)

ふるさとを愛し、他者と共に

持続可能な社会の創り手となる児童生徒を育てる学校教育の推進

2 研究主題設定の趣旨

基本主題は、今まで積み上げた各校の研究実績のもと、児童生徒一人一人の能力や可能性を最大限引き出し、人とのつながりを基盤に他者と協働しながら課題を解決する資質・能力を高め、学校・家庭・社会が一体となって、ふるさとを愛し、新たな社会をけん引する児童生徒を育成する教育の推進を示している。

また、以下の「研究主題」ごとに、各学校、地域の特色等を踏まえた教育推進に関わる校長の指導の在り方について、管内三校長会の総力を結集して究明し、上川・旭川教育の充実に資するものとする。

3 研究内容

(1) 研究主題Ⅰ 「創意と活力に満ちた学校経営の推進」

ア 小主題1 「グランドデザインの構築と活力ある学校経営」

(視点) 学校評価、学校として育成を目指す資質・能力、グランドデザイン、組織マネジメント、小中連携、家庭・地域との連携・協働と参画の促進など

イ 小主題2 「教育の質を高める教職員の資質・能力の向上を図る学校経営」

(視点) 校内研修の工夫・充実、育成指標に基づくキャリアステージに応じた資質・能力の向上、人材育成を図る組織体制、働き方改革、学校職員人事評価の活用など

(2) 研究主題Ⅱ 「社会に開かれた教育課程の推進」

ア 小主題1 「確かな学力を育成する教育」

(視点) 「主体的・対話的で深い学び」を目指す授業改善、一人一台端末の効果的な活用、学習習慣の確立、主体的な学習態度、カリキュラム・マネジメントなど

イ 小主題2 「豊かな心を育てる教育」

(視点) 道徳教育の推進及び道徳科の授業改善、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・適切な対応、キャリア教育、進路指導、生徒指導など

ウ 小主題3 「健やかな体を育てる教育」

(視点) 体力、運動能力の向上、自律的な生活習慣、食育、健康・安全教育

エ 小主題4 「今日的な教育課題に対応する教育」

(視点) 感染症対策、GIGA スクール構想の推進、学校の実態に即した特色ある教育など

4 研究推進計画

- (1) 月1回の定例校長研修会での話し合いを軸に、年間計画に沿った研究を進める。
- (2) 6月と2月に特別研修会を実施し、今日的な教育課題に対応する資質能力の向上に努める。
- (3) 夏季に旭川市小学校長会・旭川市中学校長会・上川管内校長会（以下、三校長会）合同の研究会を実施し、研究成果の発表交流を行う。
- (4) 年度末に、研究成果を「研究紀要」に収録する。

5 研究組織

- (1) 三校長会を研究母体として夏季休業期間中に合同研究会を開催する。必要に応じて研究担当者会議を開き、計画・運営について検討する。また、合同研究会には、北海道教育庁上川教育局及び旭川市教育委員会、上川教育研修センターに助言を依頼する。
- (2) 合同研究会では、小学校4分科会、中学校2分科会を設置し、年次ごとの「研究のねらいや視点」に沿って研究を推進する。
- (3) 令和6年度全日中研究協議会岩手大会に向けて、旭川市地区全体で提言準備を進める。